

第 19 回宇和島市・北宇和郡中学校新人総合体育大会

期 日 令和6年 10月 1日(火)
2日(水)
3日(木)
(雨天決行 一部順延)

会 場

大会本部	宇和島市立城北中学校
バレーボール	鬼北町立広見中学校
バスケットボール	吉田町ふれあい運動公園
卓球	鬼北総合公園
ソフトテニス	津島プレーランド
軟式野球	丸山公園野球場
サッカー	丸山公園多目的グラウンド
柔道	宇和島市総合体育館
剣道	三間町国民体育館
テニス	三間町運動公園
相撲	宇和島東高等学校津島分校

主 催

宇和島市教育委員会
松野町教育委員会
鬼北町教育委員会
宇和島市中学校体育連盟
北宇和郡学校体育会

大会テーマ
君の夢 羽ばたけ 愛媛の青空へ

開場・競技開始時刻

競技名	会場	開場時刻	競技開始
バレーボール	鬼北町立広見中学校	7:45	9:00
バスケットボール	吉田町ふれあい運動公園	9:00	10:00
卓球	鬼北総合公園	7:45	9:20
ソフトテニス	津島プレーランド	7:50	9:10
軟式野球	丸山公園野球場	8:00	9:30
サッカー	丸山公園多目的グラウンド	8:00	10:00
柔道	宇和島市総合体育館	8:00	10:10
剣道	三間町国民体育館	8:00	9:40
テニス	三間町運動公園	7:50	8:40
相撲	宇和島東高等学校津島分校	8:30	10:15

※ 大会2日目の競技開始時刻

- 9:00 バレーボール女子
- 9:10 ソフトテニス
- 9:20 卓球
- 9:30 軟式野球、サッカー

※ 大会3日目の競技開始時刻

- 9:30 軟式野球
- 10:00 サッカー

大会規定

競技者・指導者・役員は、スポーツマンとしての態度で終始する。各競技責任者並びに審判長は本大会規定違反者に対しては厳重に注意しなければならない。はなはだしい場合には大会委員会で審議の上、競技資格を認めない。

1 競技に関するもの

- (1) 競技は全て県新人大会規定並びに本大会競技規定によって行う。
- (2) 競技者・指導者・応援者はフェアプレーの精神を貫き、相手を中傷するような言動、判定への不当な抗議等は厳に慎み、敵・味方の区別なく、さわやかな声援を送る。
- (3) 軟式野球、サッカーの準決勝、バレーボール女子の予選リーグ5試合目以降の試合は翌日実施とする。軟式野球、サッカーの決勝は3日目に実施とする。
- (4) ソフトテニス個人、卓球個人の試合は翌日実施とする。

2 出場資格に関するもの

- (1) 団体競技 1団体1チーム

(2) 個人競技

- 卓球 1団体シングルス8名以内・ダブルス4ペア以内
- ソフトテニス 1団体5ペア以内
- 柔道 制限しない
- 剣道 制限しない
- テニス 1団体シングルス12名以内・ダブルス6ペア以内
- 相撲 制限しない

- (3) 1人が2競技以上に出場することはできない。

- (4) 外部指導者（コーチ）は、以下の競技に限り代表者の承認を得てベンチ入りすることができる。なお外部指導者（コーチ）証を必ず付けることとする。テクニカル・アドバイザーも同様の扱いとする。

- バレーボール ○ ソフトテニス ○ 柔道 ○ 相撲
- バasketボール ○ 軟式野球 ○ 剣道
- 卓球 ○ サッカー ○ テニス

- (5) 卓球に限り、複数の学校における外部指導者（コーチ）として登録できる。ただし、複数の競技における外部指導者（コーチ）としては登録できない。

- (6) 当該校以外の中学校の校長・教職員（行政関係は除く）は、外部指導者（コーチ）としての資格を持たない。

- (7) けが・病気等で出場できなくなった選手については、代表者の承認を得て、大会当日の監督会議で変更届を提出すれば、変更を認める。（団体・ソフトテニス個人・卓球ダブルス・テニスダブルスのみ可）

- (8) 2校以上の合同チームは、県中体連の合同チーム編成規程により大会への参加を認める。

3 開閉会式に関するもの

- (1) 開閉会式は行わない。
- (2) 開始式及び表彰については、各競技に応じて行う。

4 県新人大会出場資格に関するもの

競技名	団体出場数	個人出場数
バレーボール	男子3チーム以上→2 3チーム未満→1 女子7チーム以上→2 7チーム未満→1	
バスケットボール	男女とも8チーム以上→2 8チーム未満→1	
卓球	男女とも5チーム以上→2 5チーム未満→1	団体1→S4・D2 団体2→S8・D4
ソフトテニス	男女とも7チーム以上→2 7チーム未満→1	団体1→4 団体2→8
軟式野球	6チーム以上→2 6チーム未満→1	
サッカー	6チーム以上→2 6チーム未満→1	
柔道	男子5チーム以上→3 5チーム未満→2 女子フリー	男女とも4 (団体4以上→団体数+1)
剣道	男子4チーム以上→2 4チーム未満→1 女子3チーム以上→2 3チーム未満→1	団体1→4 団体2→8
テニス	男女ともフリー	シングルス16 ダブルス8
相撲	4チーム	フリー

※ 個人出場数にある「団体」とは、県新人大会出場団体数のことを示す。

5 表彰に関するもの

- (1) 団体競技1位には優勝杯と団体及び登録選手全員に賞状を授与する。2位には賞状を授与する。
- (2) 個人競技は、3位までの入賞者に賞状を授与する。

6 その他

- (1) 組合せ抽選は、第8回市郡中学校体育研修会において各校理事の責任抽選とする。
- (2) 競技責任者は大会終了後、大会結果を大会本部（城北中学校）まで報告する。
- (3) 団体競技の規定数は次のとおりとする。ただし、マネージャーは生徒に限る。

バレーボール【12+①】	バスケットボール【15+①】	卓球【8】
ソフトテニス【8】	軟式野球【20】	サッカー【18】
柔道男子【7】	柔道女子【4】	剣道【7】
テニス【10】	相撲【5】	※ ①……マネージャー

大会本部役員

名誉大会長	宇和島市教育委員会教育長	金瀬	聡
	松野町教育委員会教育長	三好	秀二
	鬼北町教育委員会教育長	行定	洋嗣
大会長	宇和島市中学校体育連盟会長	梶谷	宗範
大会副会長	北宇和郡学校体育会長	水野	俊英
顧問	南予教育事務所長	藤原	泰幸
参 与	宇和島市中学校体育連盟副会長	近藤	浩一
	宇和島市立城東中学校校長	脇本	俊二
	宇和島市立城南中学校校長	今井	純
	宇和島市立吉田中学校校長	行定	永
	宇和島市立三間中学校校長	利根	建樹
	愛媛県立宇和島南中等教育学校校長	中村	惣一
	鬼北町立広見中学校校長	荻原	潤
	鬼北町立日吉中学校校長	新城	裕志
大会委員長	宇和島市中学校体育連盟理事長	佐伯	翔平
大会副委員長	北宇和郡学校体育会理事長	木村	広也
大会委員	宇和島市中学校体育連盟理事	武田	尚之
	宇和島市中学校体育連盟理事	木下	恵理
	宇和島市中学校体育連盟理事	八十島	洋平
	宇和島市中学校体育連盟理事	窪内	秀世
	宇和島市中学校体育連盟理事	宮崎	つる乃
	宇和島市中学校体育連盟理事	脇本	健太郎
	北宇和郡学校体育会理事	柿本	弘樹
	北宇和郡学校体育会理事	米田	実樹

救護員及び救急指定病院

競技名	会場	救護員	救急指定病院
バレーボール	鬼北町立広見中学校	永井佳奈恵(松野)	市立宇和島病院 (25-1111)
バスケットボール	吉田町ふれあい運動公園	岡田 久美(吉田)	
卓 球	鬼 北 総 合 公 園	日出山佳代(広見)	鎌野整形外科 (24-6611)
ソフトテニス	津島プレーランド	小幡 裕佳(宇南)	宇和島徳洲会病院 (22-2811)
軟式野球	丸山公園野球場	伊井さつき(城南)	溜尾整形外科病院 (52-3133)
サッカー	丸山公園多目的グラウンド	安居 結花(城東)	松崎クリニック (58-4828)
柔 道	宇和島市総合体育館	小川 妙(城北)	市立津島病院 (32-2011)
剣 道	三間町国民体育館	曾根 春菜(三間)	
テ ニ ス	三間町運動公園	曾根 春菜(三間)	町立北宇和病院 (45-1221)
相 撲	宇和島東高等学校津島分校	加洲由花留(津島)	

※ 救護員は、大会2日目及び3日目も同じ会場を担当する。

参加状況及び競技方法等

チーム等 競技名	性	城	城	城	吉	三	津	宇	松	広	日	地	団	競	県
	別	東	南	北	田	間	島	南	野	見	吉	域	体		
												ク	合	方	人
												ラ	計	法	大
												ブ			会
															卒
バレーボール	男	○							○				2	決 勝	1
	女	○	○	○	○		○	○	○	○			8	予選リーグ・決勝トーナメント	2
バスケットボール	男	○		○		○	○						4	トーナメント	1
	女	○	合		合	○		合		○			4	トーナメント	1
卓 球	男	○	○	○	○	○	○	○		○			8	予選リーグ・決勝トーナメント	2
	女	○	○	○	○	○	○	○		○			8	予選リーグ・決勝トーナメント	2
ソフトテニス	男	○	○	○			○	個		○	個		5	リ ー グ	1
	女	○	○	○	○		○		○	○	個		7	予選リーグ・決勝トーナメント	2
軟 式 野 球	共	○	○	○	○	合1	合2	合2	合1	合1			6	トーナメント	2
サ ッ カ ー	共	○	合	○				○		合		○	5	トーナメント	1
柔 道	男		個	○		○	○						3	リ ー グ	2
	女			○			○						2	決 勝	フリー
剣 道	男		○			○		○		個			3	リ ー グ	1
	女		○			○		○					3	リ ー グ	2
テ ニ ス	男					○							1	認 定	フリー
	女					○							1	認 定	フリー
相 撲	男		○				○						2	決 勝	2
団 体 合 計		10	11	10	6	10	10	8	4	8	0	1	72		

※ 合は、合同チーム 個は、個人のみ出場

※ 各校名の表記 城東・城南・城北・吉田・三間・津島・宇南・松野・広見・日吉

バレーボール

- 競技責任者 清家 怜 (広 見)
- 会場責任者 清家 怜 (広 見)
- 審判長 木口 富惣 (吉 田)
- 審判員 渡辺 修 (北宇和高) 堀内 秀嗣 (宇和島東高) 清家 祥 (宇和島東高)
友 勝彦 (日吉中) 菊岡聡次郎 (八 代) 山口 貴史 (宇 南)
大村 祥夫 (県バ協) 大村 英子 (県バ協) 植村 勇作 (県バ協)
- 運営員 二宮 梨江 (城 東) 木下翔太郎 (城 東) 宮崎つる乃 (津 島)
有友瑛里子 (松 野) 河野 重克 (松 野) 清家 純子 (宇 南)
揚野 豪恭 (城 南) 木下 恵理 (城 北)
- 競技方法
男子は決勝のみ、女子は予選リーグと決勝トーナメントを行う。
- 競技規定
 - 1 2024年度(公財)日本バレーボール協会制定6人制競技規則及び競技要項に準ずる。
※ リベロプレーヤーについては、一般と同様の「リベロリプレイスメント」ルールで行う。
(取り扱いの詳細は、県中体連ホームページに掲載する。)
 - 2 ベンチに入れる者は、選手12名以内と監督・コーチ・マネージャー各1名(マネージャーは生徒に限る。)とする。監督・コーチは、出場校(チーム)の校長・教員・部活動指導員・地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の代表(指導)者であり、引率者としての責任を負う。コーチが外部指導者(コーチ)の場合は、当該校の校長が認めた者で、外部指導者(コーチ)証を付けること。
なお、地域スポーツ団体(地域クラブ活動)は該当しない。
 - 3 監督・コーチ・マネージャーは、必ず規定のマークを左胸部につけること。
 - 4 監督・コーチの服装は、統一されたものが望ましい。(短パン、ランニングは不可)
 - 5 試合設定時刻は、1日目はプロトコール開始時刻、2日目は試合開始時刻とする。
 - 6 ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。
 - 7 ボールは4号球で、人工皮革・カラーボールを使用する。(男:モルテン、女:ミカサ)
 - 8 公式練習は、毎試合ごとに行う。
 - 9 登録選手及びチームスタッフの変更については、当該チームの第1試合プロトコール開始までに各会場の本部に連絡すること。
 - 10 給水のためのタイムアウトを採用する。(取り扱いの詳細は、県中体連HPに掲載する。)

組合せ

バレーボール男子

城東 (三) 松野

バレーボール女子

予選リーグ Aゾーン

	1松野	2城東	3城北	4吉田	勝	負	順位
1松野		(三)	(三)	(三)			
2城東	(三)		(三)	(三)			
3城北	(三)	(三)		(三)			
4吉田	(三)	(三)	(三)				

予選リーグ Bゾーン

	5津島	6城南	7宇南	8広見	勝	負	順位
5津島		(三)	(三)	(三)			
6城南	(三)		(三)	(三)			
7宇南	(三)	(三)		(三)			
8広見	(三)	(三)	(三)				

1日目試合順

	Aゾーン	Bゾーン
①	1松野 - 2城東	5津島 - 6城南
②	3城北 - 4吉田	7宇南 - 8広見
③	1松野 - 3城北	5津島 - 7宇南
④	2城東 - 4吉田	6城南 - 8広見

2日目試合順

⑤	1松野 - 4吉田	5津島 - 8広見
⑥	2城東 - 3城北	6城南 - 7宇南

バレーボール女子 決勝トーナメント 2日目

準決勝

A 1位		(三)		B 2位 ①
------	--	-----	--	--------

B 1位		(三)		A 2位 ②
------	--	-----	--	--------

決勝

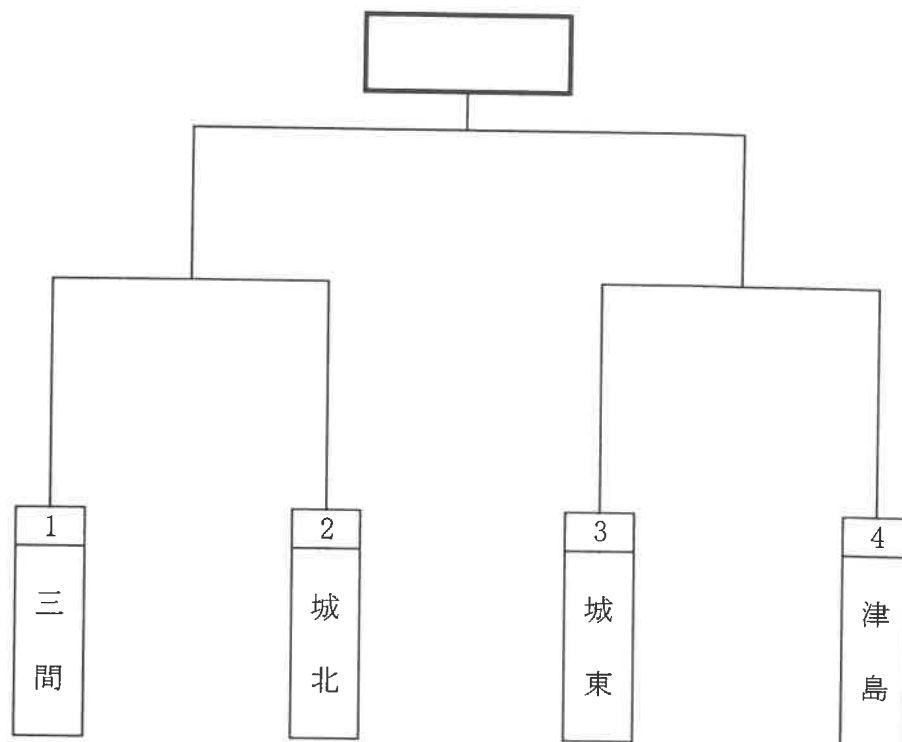
①勝者		(三)		②勝者
-----	--	-----	--	-----

バスケットボール

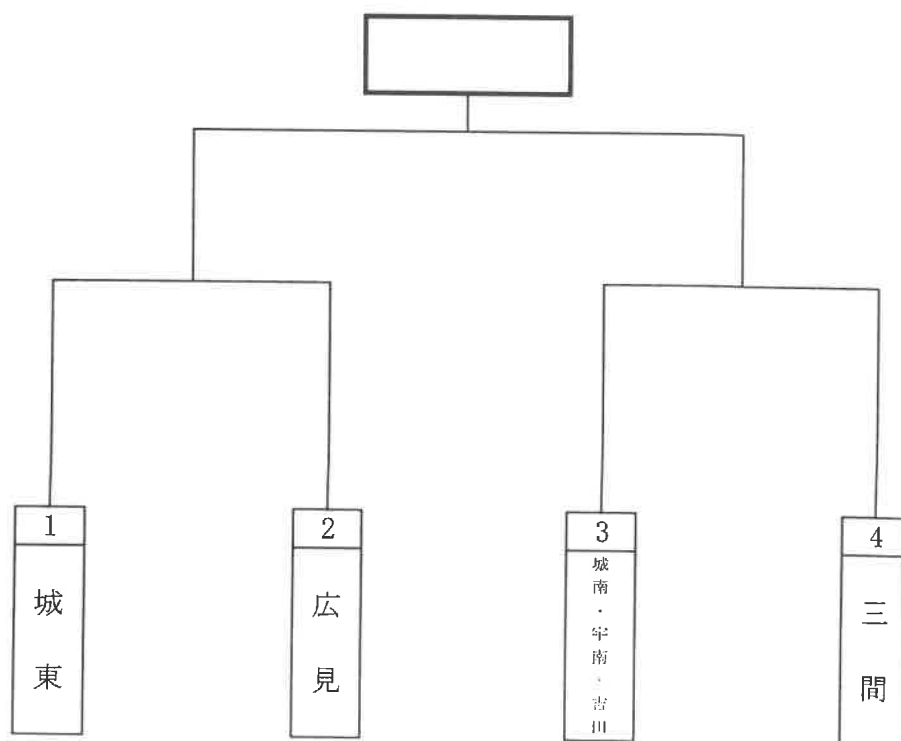
- 競技責任者 新田 智大 (城 東)
- 会場責任者 小路 隆太 (吉 田)
- 審判長 西田 裕充 (城 東)
- 審判員 入船 隆志 (南バ協) 佐竹 克哉 (南バ協) 永沢 直哉 (南バ協)
大宿 陽 (南バ協) 窪田 智弘 (南バ協) 工藤 峻 (愛 宕)
- 運営員 窪内 秀世 (三 間) 芳野 航太 (宇 南) 伊勢 千加 (広 見)
沖中真由美 (津 島) 大内 崇広 (三 間) 二神信次郎 (城 北)
梶原 和真 (城 南)
- 競技方法 男子・女子ともに、トーナメントを行い、競技1日目に決勝を行う。
- 競技規定
 - 1 2024～(公財)日本バスケットボール協会競技規則による。
 - 2 試合球は(公財)日本バスケットボール協会検定球、男子は7号・女子は6号皮革製とする。
 - 3 ベンチは、組合せ番号の小さい方がオフィシャル席に向かって右側とする。
 - 4 ユニフォームの色は、組合せ番号の小さい方が白色とする。
 - 5 ベンチに入る者は、登録された選手15名と引率責任者・コーチ・アシスタントコーチ・マネージャーの計19名とする。(引率責任者は、コーチ・アシスタントコーチまたはマネージャーを兼務できる)
 - 6 引率責任者は、出場校の校長・教員(非常勤は除く)・部活動指導員とする。
 - 7 コーチ・アシスタントコーチは、校長の認めた者とする。外部指導者を1名おくことができ、試合中に証明書を確認できるようにしておく。外部指導者がベンチで指揮を執る場合は、参加申込書のコーチの欄に氏名を記入する。
 - 8 マネージャーは、出場校の教員または生徒とする。
 - 9 「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則って運営する。
 - 10 チームトレーナーが帯同する場合は、申込時に所定の「チームトレーナー申請書(校長承諾書)」を提出すること。
 - 11 外国籍選手(JBA基本規定に基づく)の出場は、コート上5名のうち1名以内とする。
 - 12 外国籍選手(JBA基本規定に基づく)の大会エントリーは、1チームあたり2名までとする。

組合せ

バスケットボール (男子)

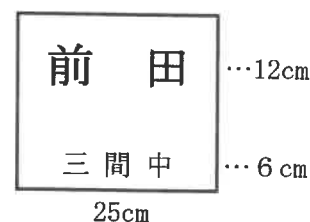


バスケットボール (女子)



卓 球

- 競技責任者 前田 哲伸 (三 間)
- 会場責任者 植野 晴貴 (広 見)
- 審 判 長 脇坂 祐輔 (宇 南)
- 運 営 員 岩下 撰 (城 東) グッドウィン杏奈 (城 東)
飯田 修司 (城 北) 芝 祐介 (城 北)
- 参加規定
 - 1 団体戦 選手6～8名以内、監督1名をもって編成登録する。なお、監督の他にコーチとして、1名のベンチ入りを認める。
 - 2 個人戦 シングルスとダブルスは、兼ねることができない。なお、アドバイザーとして、1名のベンチ入りを認める。ただし、学校部活動に関しては、監督または、当該校の教職員(部活動指導員含む)、校長の承認を得た外部指導者、生徒のいずれかとする。地域スポーツ団体に関しては、その団体の構成員とする。
- 競技方法
 - 1 団体戦は予選リーグ、決勝トーナメントとし、個人戦はトーナメントとする。
 - 2 1日目に団体戦を行い、2日目に個人戦を行う。
- 競技規定
 - 1 現行の(公財)日本卓球協会ルールを適用する。(全ての試合で、タイムアウト・促進ルールを適用する。)
 - 2 ユニフォームの背部に下記のゼッケンをつける。(同姓の場合は名を一字だけ加える。)
 - 3 オーダー用紙は、右側に自校のオーダーを記入し、対戦校同士で交換をする。
 - 4 大会使用球は、(公財)日本卓球協会公認ホワイト球(プラスチック)とする。
(VICTAS(VP40+)、Nittaku (PREMIUM CLEAN)、Butterfly(R40+))(40mm)
※ 本部ではNittaku (PREMIUM CLEAN)、Butterfly(R40+)を準備しているが、VICTAS(VP40+)の持ち込み可。ただし、1試合ごとに新球を使用すること。
- 競技上の注意事項
 - 1 サービスは16cm以上投げ上げること。
 - 2 試合中のタオル使用は、6本ごとのサービス交代時のみとする。
(最終ゲームは、どちらかが5ポイント先取した時もとれる。)
 - 3 ゼッケンは、日本卓球協会のもも認める。
 - 4 ツブ高ラバー及びラバーの接着等を含め、審判長の判断でラケット交換を要求することができる。
 - 5 ラケットの両面にラバーを貼る場合、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。(カラーラバー可)



組合せ

卓球 団体 (男子)

予選

Aゾーン		津島	城北	広見	宇南	勝敗	順位
1	津島						
2	城北						
3	広見						
4	宇南						
A 1	津島		城北	A 2	広見		宇南
A 3	津島		広見	A 4	城北		宇南
A 5	津島		宇南	A 6	城北		広見

Bゾーン		城東	城南	三間	吉田	勝敗	順位
1	城東						
2	城南						
3	三間						
4	吉田						
B 1	城東		城南	B 2	三間		吉田
B 3	城東		三間	B 4	城南		吉田
B 5	城東		吉田	B 6	城南		三間

決勝トーナメント



卓球 団体 (女子)

予選

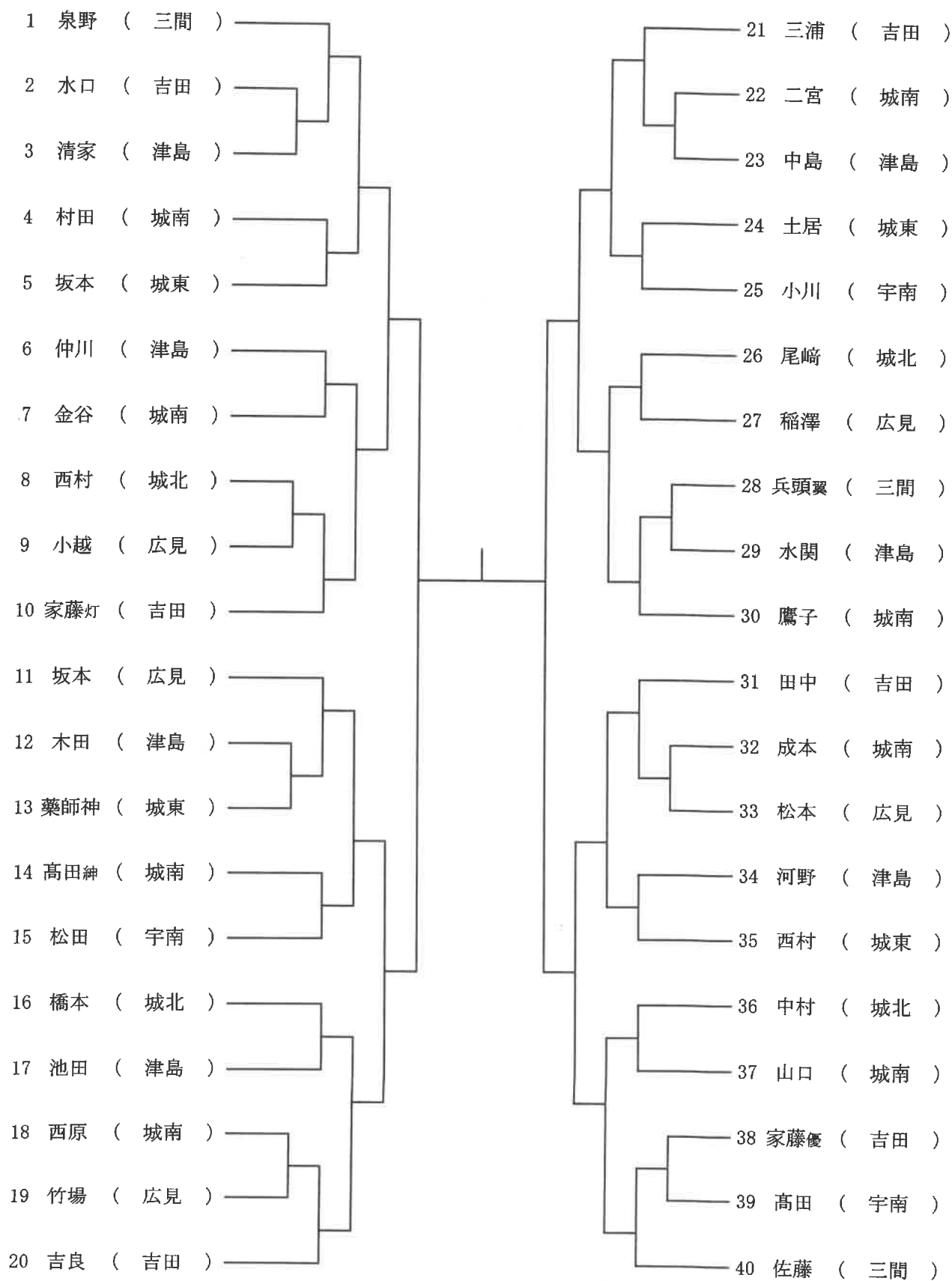
Aゾーン		広見	城北	三間	宇南	勝敗	順位
1	広見						
2	城北						
3	三間						
4	宇南						
A 1	広見		城北	A 2	三間		宇南
A 3	広見		三間	A 4	城北		宇南
A 5	広見		宇南	A 6	城北		三間

Bゾーン		城東	津島	城南	吉田	勝敗	順位
1	城東						
2	津島						
3	城南						
4	吉田						
B 1	城東		津島	B 2	城南		吉田
B 3	城東		城南	B 4	津島		吉田
B 5	城東		吉田	B 6	津島		城南

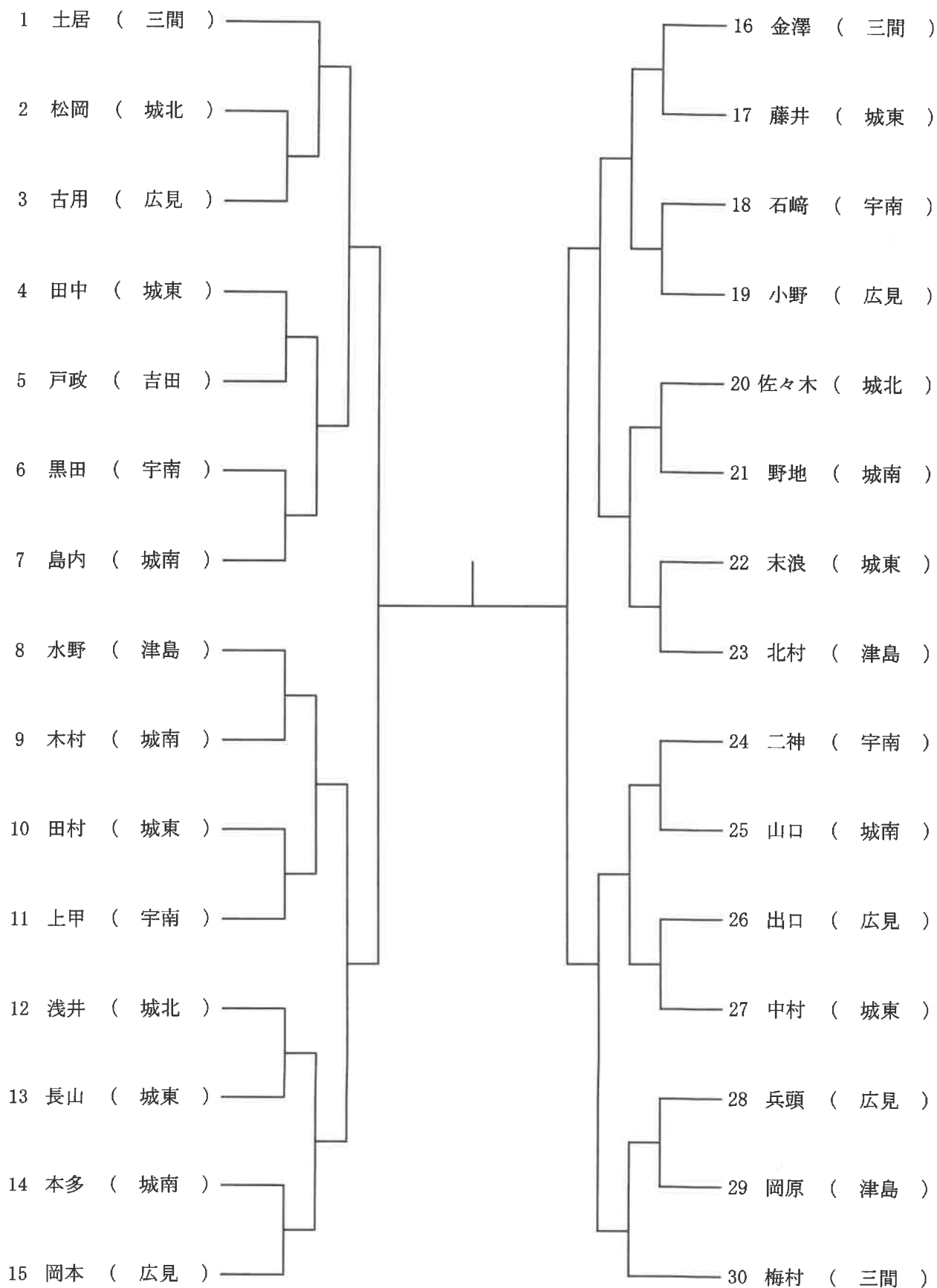
決勝トーナメント



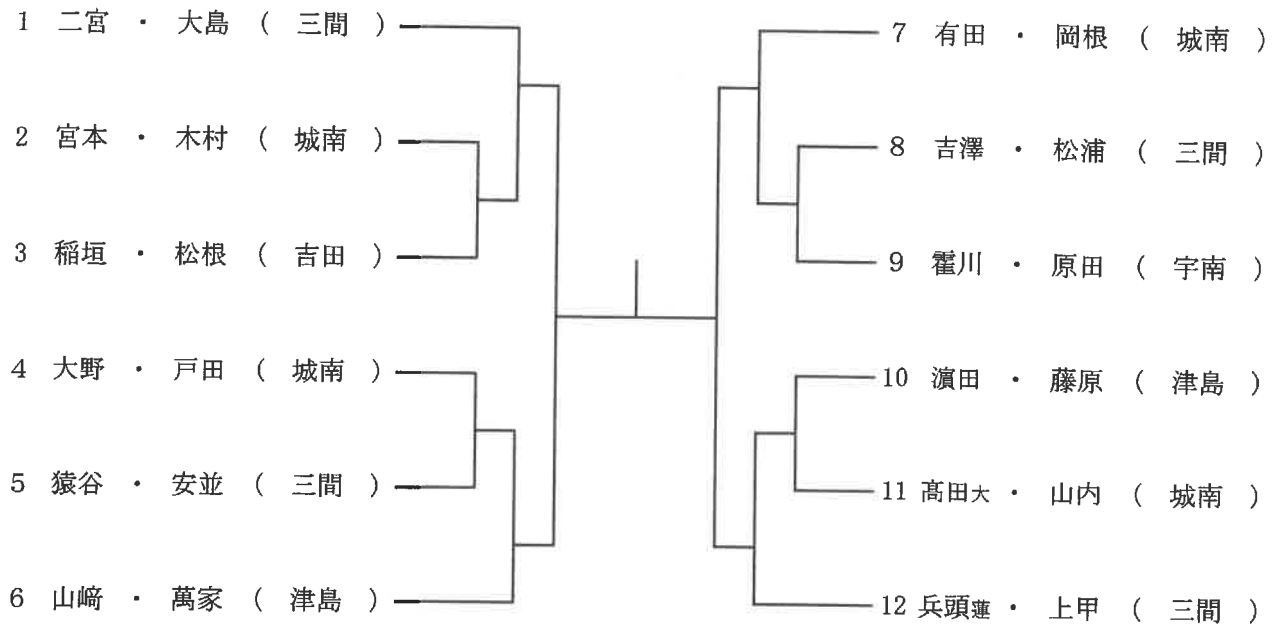
卓球 個人戦 シングルス (男子)



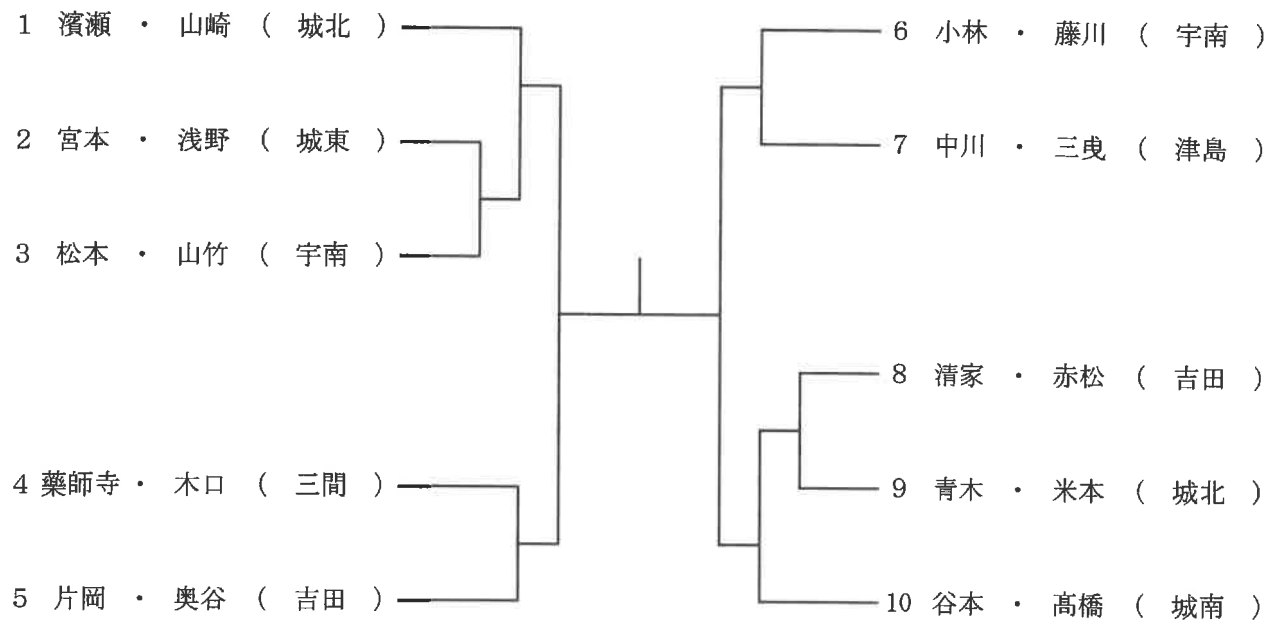
卓球 個人戦 シングルス (女子)



卓球 個人戦 ダブルス (男子)



卓球 個人戦 ダブルス (女子)



ソフトテニス

- 競技責任者 大嶋 真広 (城 東)
- 会場責任者 金井 晴賀 (津 島)
- 審判長 垣内 智善 (吉 田)
- 審判員 松浦 一 (城 東) 岡田 幸俊 (城 北) 市橋 明子 (城 北)
毛利 和麻 (城 南) 山岡 一孝 (城 南) 谷口 誠崇 (宇 南)
金井 晴賀 (津 島) 木野下志麻 (津 島) 木村 広也 (松 野)
柿本 弘樹 (広 見) 水野 公貴 (広 見) 徳田 英樹 (日 吉)
井上 悠 (日 吉)
竹内 敏夫 (宇連盟) 野中 壘 (宇連盟) 森 友紀 (宇連盟)

○ 参加規定

1. 団体戦は、同一校（同一クラブ）の選手4名以上8名以内と監督又はコーチ1名で構成する。
2. 個人戦は、同一校（同一クラブ）の選手2名と監督又はコーチ1名で構成する。

○ 競技方法

1. 団体戦は、男子リーグ戦、女子予選リーグののち決勝トーナメント、個人戦は男女ともにトーナメント方式とし、試合は7ゲームマッチとする。
2. 団体戦において、4名（2ペア）で出場する場合は、第1、2対戦に出場し第3対戦を不戦敗とする。
3. 団体戦を1日目に、個人戦を2日目に実施する。

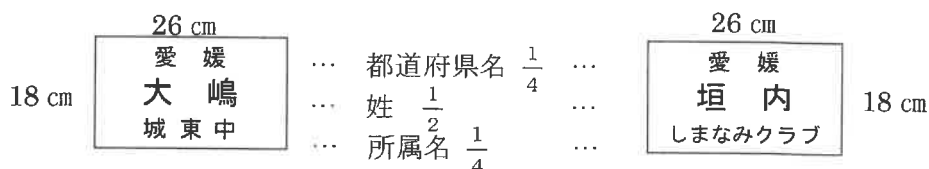
○ 競技規定

1. 現行の（公財）日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」および大会要項による。
2. 使用球は公認球（白色）とする。（令和6年度は、団体戦ケンコーボール、男子個人戦アカエムボール、女子個人戦ダンロップボール）
3. ユニフォームは、上は半袖のスポーツシャツ（襟なし可）、下は膝より上のパンツ・スカートを着用すること。ただし、服装（用具を含めて）の色等は華美にならないようにする。シャツの裾を外に出したり、袖をまくることはしない。また、ユニフォームは文言や記号を後から記入もしくは印刷し使用してはいけない（学校指定の半袖・短パン体操服可）。
4. サポーター・テーピング、アンダーシャツ・アンダータイツを使用する場合は、白・黒・ベージュの単色とする
5. ハチマキ、帽子、サンバイザーには、正面に特別な文字や記号を記入もしくは印刷し、使用してはいけない。
6. 監督・選手ともテニスシューズを着用する。
7. 背中 of ゼッケンを各校（各クラブ）で別の布などで作成し、背中 of 中央に付けること。ただし、4隅を止めることとする。すでにプリントされている文字は隠すようにつけるものとする。
 - (1) ゼッケンは、B5判横（白地）の大きさの布に都道府県名、学校名（地域クラブ活動名）、姓を記述する。都道府県名の「都府県」の文字は付けられないものとする。
 - (2) ゼッケンの文字は、「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」を使用し、文字の色は「黒」と

する。シャツそのものへのプリントは認めない。

- (3) 都道府県内で同名の中学校がある場合には、区別をするために中学校名の表記の工夫をしてもよい。
- (4) 「地域スポーツ団体（地域クラブ活動）」の場合は、所属がわかるように表現する。
- (5) ゼッケンの文字の位置は下図どおりとし、同一校（同一地域クラブ）に同姓の選手がいる場合には、名前の一部も付け加える。
- (6) 下図のように（公財）日本ソフトテニス連盟で示されている三段とする。

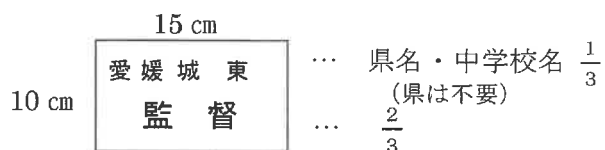
[選手のゼッケン]



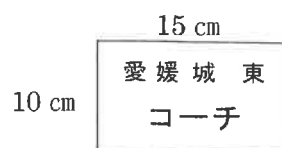
○ 競技上の注意事項

1. 地域クラブは、必ず日本スポーツ公認の「コーチ1」以上の資格を有する者が在籍しており、大会においてベンチ入りする者はその資格保有者であること。（ただし、当該年度は取得中のものでも可とする。）
2. オーダーは試合ごとに2部作成し、1部を試合後に本部に提出する。
3. 個人戦の場合も監督・コーチ（教員・部活動指導員・外部指導者）はベンチに入ってもよい。個人戦は、出場ペア数まで監督・コーチをおくことができる。コーチ（教員・部活動指導員・外部指導者）は、申込書に必ず明記しておくこと。
4. 監督・コーチは、スポーツウェア、テニスシューズを着用のこと。また、監督・コーチは左胸にゼッケンをつけること。（文字、生地の色は特に指定しない。）外部指導者は中体連が定める外部指導者証も所持すること。
5. ベンチ外からのコーチは禁止する。（イエローカードの提示の対象とする。）

[監督のゼッケン]



[コーチのゼッケン]



組合せ

ソフトテニス 団体 (男子)

		城北	城南	広見	津島	城東	勝敗	順位
1	城北	/					—	
2	城南		/				—	
3	広見			/			—	
4	津島				/		—	
5	城東					/	—	

1 試合目	城北	—	城南	2 試合目	広見	—	津島
3 試合目	城北	—	広見	4 試合目	城南	—	城東
5 試合目	城南	—	津島	6 試合目	城北	—	城東
7 試合目	広見	—	城東	8 試合目	城北	—	津島
9 試合目	津島	—	城東	10 試合目	城南	—	広見

ソフトテニス 団体 (女子)

Aゾーン		城南	城東	松野	勝敗	順位
1	城南	/			—	
2	城東		/		—	
3	松野			/	—	

A 1	城南	—	城東	A 2	城東	—	松野
A 3	城南	—	松野				

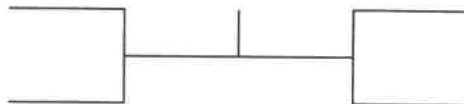
Bゾーン		津島	城北	広見	吉田	勝敗	順位
4	津島	/				—	
5	城北		/			—	
6	広見			/		—	
7	吉田				/	—	

B 1	津島	—	城北	B 2	広見	—	吉田
B 3	津島	—	広見	B 4	城北	—	吉田
B 5	城北	—	広見	B 6	津島	—	吉田

決勝トーナメント

Aゾーン
1位

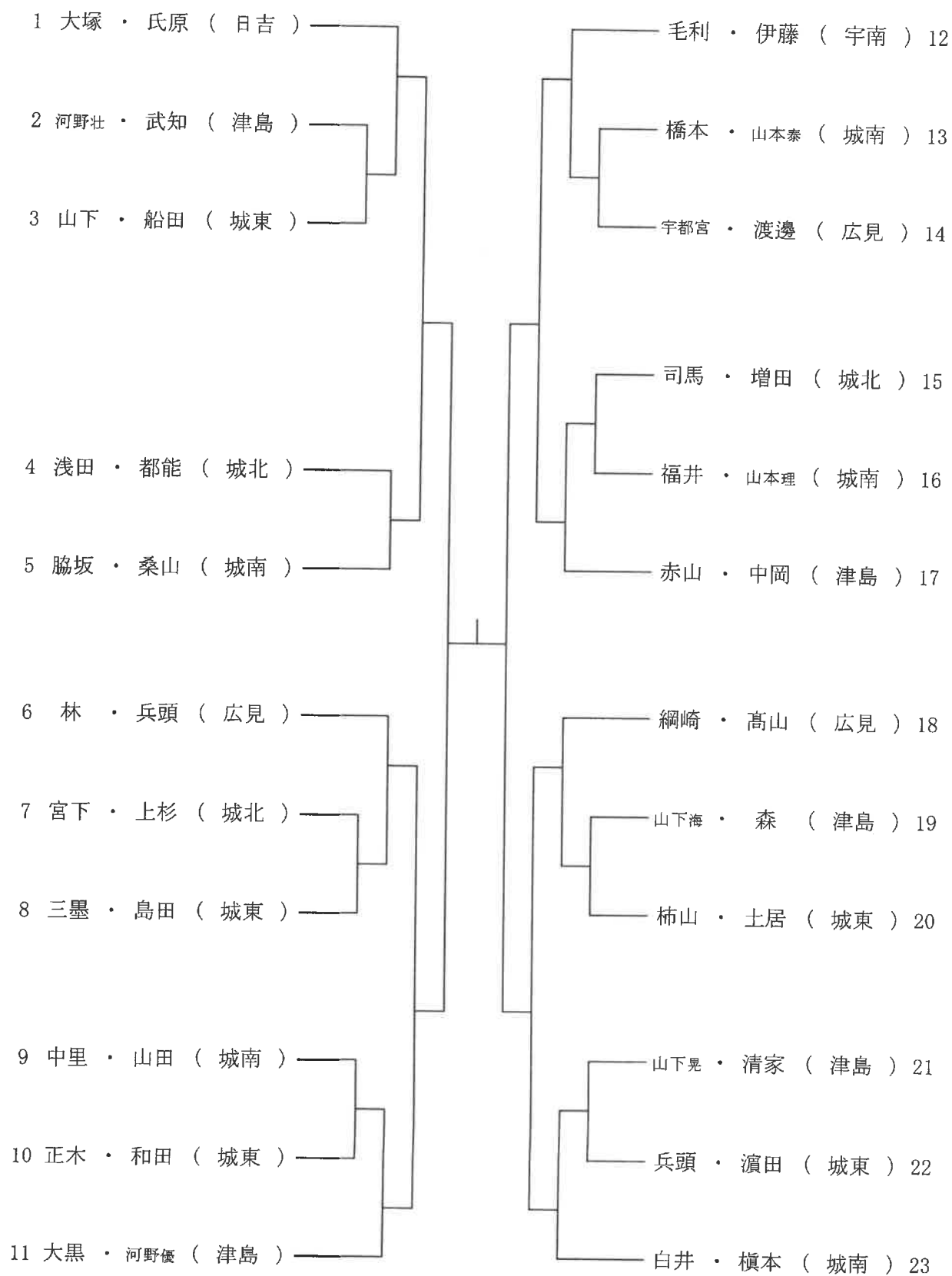
Bゾーン
2位



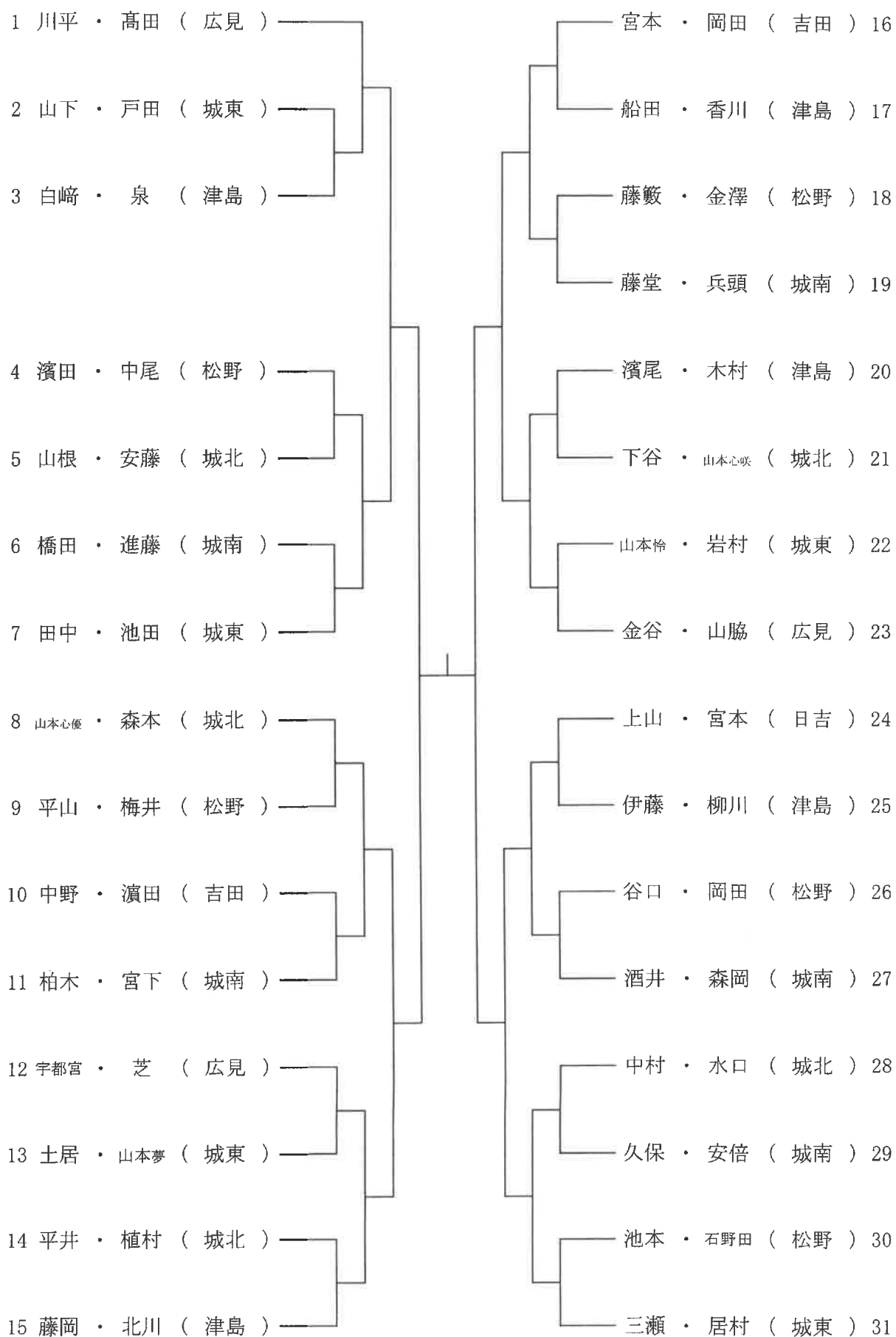
Aゾーン
2位

Bゾーン
1位

ソフトテニス 個人 (男子)



ソフトテニス 個人 (女子)

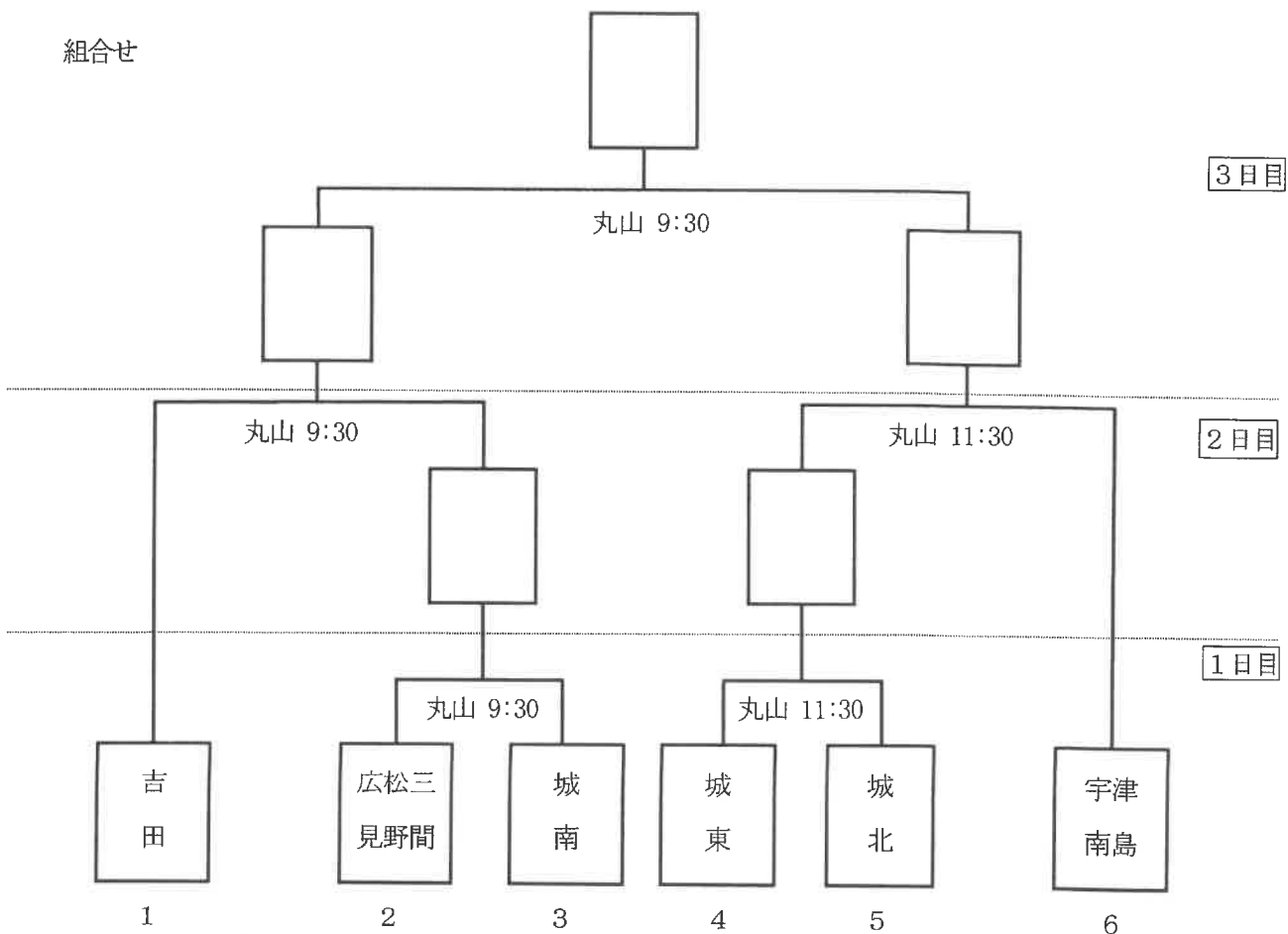


軟式野球

- 競技責任者 吉川 晋 (三 間)
- 会場責任者 井上 雄大 (城 北)
- 審判長 山口 功一 (宇 南)
- 審判員 渡辺 卓一 (宇軟野連) 清家 康太 (宇軟野連) 中井 辰徳 (宇軟野連)
松崎 陽介 (宇軟野連) 平野 悦史 (宇軟野連) 二神 崇雄 (宇軟野連)
山村 司 (宇軟野連) 田中 良夫 (宇軟野連) 仲川 元雄 (宇軟野連)
渡邊 卓 (三 間)
- 運営員 宮本 映 (城 東) 薬師寺 晃 (城 東) 竹葉 弘一 (城 南)
有馬 伸貴 (吉 田) 松本 康希 (津 島) 藤岡 周平 (宇 南)
岡田 真輔 (広 見) 得能 寛太 (広 見) 岡田 凌 (松 野)
- 競技方法
 - 1 トーナメント方式とし、各試合は7回戦とする。
 - 2 5回以降7点差でコールドゲームを適用する。
 - 3 延長戦は8回から特別延長戦を行う。
- 競技規定
 - 1 当該年度公認規則及び大会特別規程による。ピッチクロックを適用する。投手の投球制限は、1日100球とする。但し、試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。なお、一週間の投球数が350球以内は適用しない。また、指名打者制は適用しない。
 - 2 1チームの編成は、監督(引率責任者)1名、選手20名以内(スコアラーを含む)とする。また、この他に教員を2名追加することができる。監督は出場校の教員・部活動指導員とする。外部指導者(コーチ)が入る場合は1名とし、出場校の校長が認めコーチ証を所持した者とする。
 - 3 ユニフォーム、アンダーシャツは各校同一のものを使用し(一番上から11cmの位置に)、背番号を付ける(背番号は、選手は1から20番、監督は30番、コーチは29、28番とする)。監督・外部指導者(コーチ)は、原則として選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。サングラスは使用しない。引率教員は平服でもよいが、平服の場合はグラウンドには入れない。スパイクについては白色との併用を可能とする。
 - 4 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定は、試合開始40分前とする。第2試合以降は前試合の4回終了時とする。各チームの監督と主将は、メンバー表を4部持って、打ち合わせをする。
 - 5 シートノックは、後攻側より始め、通告時より5分以内とする(運営上、短縮・省略することもある)。また、試合前の練習及びノックは登録選手以外に3名の補助員をつけることができる。マウンドでの投球練習は認めない。ノッカーは、選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。相手チームのシートノック中は、ベンチから出ない。終了2分前からベンチ前での準備は認める。
 - 6 暗黒・降雨などで試合が途中で中止になった場合、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。その際、投手の投球数も継続する。
 - 7 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とベースコーチは、ミーティングに参加せず、所定の位置につく。投手、またはプレートに最も近い野手が球を投手板近くに置く。
 - 8 試合中の球場内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。
 - 9 イニング間の準備時間、控え選手は声を出すためにベンチから出ることはしない。
 - 10 選手交代の申し出は、監督が行う。コーチは、試合前のノック時以外は、ベンチから出ない。
 - 11 メガホンの使用は、監督のみとする。また、電子機器類の使用は、電子スコア記録用としても認めない。
 - 12 審判員に対して規則適用上の疑義については、当事者と監督が直接、質問できる。
 - 13 危険防止のため、次のことを徹底する。
 - (1) バットリング、鉄棒等の球場への持込を禁止する。
 - (2) 足を上げてのスライディングは禁止し、現実には妨害になった場合は走者をアウトとする。

- (3) 捕手のレガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガード・ファウルカップと（捕手・予備捕手は安全のためマスクをかぶる）、打者と走者及び、シートノック時にノッカーにボールを渡す選手の両耳付きヘルメットは必ず着用する。ベースコーチとバットボーイは危険防止のためにヘルメットを着用する。また、リストバンド及びハイカットストッキング、ユニフォームのロングズボン禁止する。
 - (4) 捕手は、ボールを持たないでベースパスの範囲に足を置くことができない。ボールを捕球する動きの中でベースパス内に足を踏み入れることは違反ではない。
 - (5) 捕手がボールを保持し、ベースパス内で膝をつく姿勢は、走者の走路を妨害したとしてオブストラクションが宣告される。ただし、送球がショートバウンドとなり膝をついた状態で捕球し、そのままタッグプレーとなった場合は、捕球する中の動きであり違反ではない。
- 14 タイムに関しては公式野球規則による。
- 15 申告故意四球をする場合は、監督がタイムをかけてから行う。
- 16 熱中症予防のため、3回と5回終了時に3分間の給水タイムを設ける。（市郡総体のみ適用）
- 17 応援は、紙吹雪・テープ・個人名の書いたのぼり等の応援を禁止する。また、相手チームに不利を招くような応援（やじ等）やゲームを妨害するような応援をしない。
- 18 選手の頭髪や身なりは、中学生らしくあること。試合中・前後でのマナーを十分に考慮する。
- 19 選手のテーピングは肌の色に近いものを用い、投手は投球に影響を与えるものは使用できない。
- 20 本塁打を打った打者に握手等を求めるために、グラウンドには出てはいけない。
- 21 ベースコーチは、打者が打つまでは、打者より一番遠い枠内の位置にいる。
- 22 ロジンは各チームで準備する。

組合せ

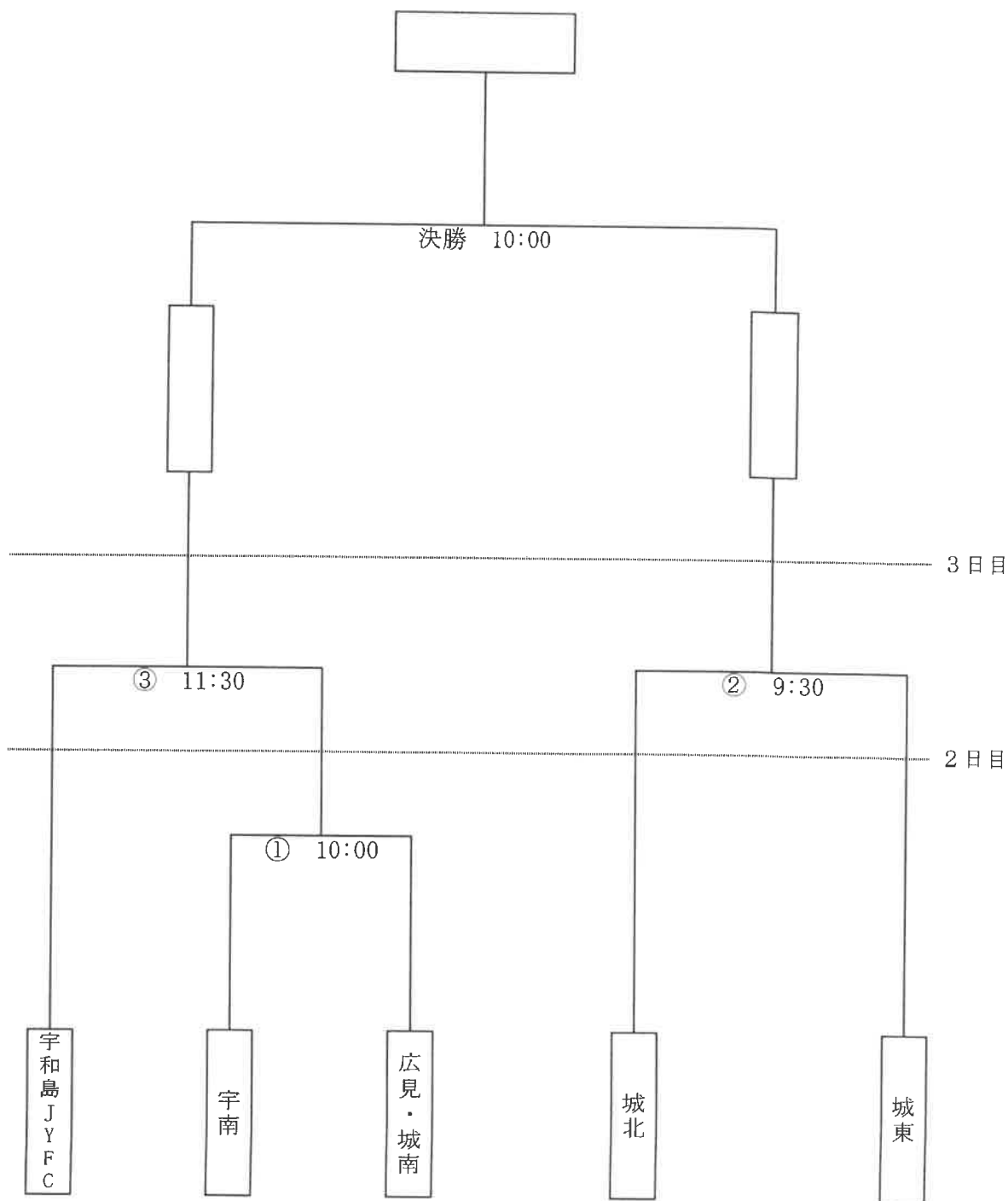


※ ベンチは抽選番号の若い方を1塁側とする。試合開始時刻は、進行状況によって多少の前後がある。

サ ッ カ ー

- 競技責任者 脇本健太郎（宇 南）
- 会場責任者 高松 諒（城 東）
- 審 判 長 保坂 遥平（広 見）
- 審 判 員
 - 武田 尚之（城 東） 佐伯 翔平（城 南） 長 瀧 郁（城 北）
 - 武田 光平（広 見） 川北 大希（宇 南） 米田 実樹（日 吉）
 - 青木 広樹（~~市カカ~~） 赤松 弘教（~~市カカ~~） 伊原 達也（~~市カカ~~）
 - 伊藤 春好（~~市カカ~~） 大塚 隆三（~~市カカ~~） 佐々木泰洲（~~市カカ~~）
 - 行定 圭一（~~市カカ~~） 横田 幸治（~~市カカ~~） 渡辺 達也（~~市カカ~~）
- 競技方法
 - 1 トーナメント方式とする。
 - 2 試合時間は 60 分（30 分ハーフ）とする。勝敗が決しないときはPK方式により次回戦に進出するチームを決定する。ただし、準決勝・決勝において勝敗が決しないときは、10 分間（5 分ハーフ）延長し、なお決しないときにはPK方式により勝敗を決定する。
 - 3 酷暑対策として、飲水タイムもしくはクーリング・ブレイクを設けることがある。ただし、その決定は大会競技委員会で行うものとする。
- 競技規定
 - 1 2024 年度（公財）日本サッカー協会の「サッカー競技規則」による。
 - 2 選手登録は 18 名以内とし、競技開始前に登録した最大 7 名の交代要員の中から、7 名までの交代が認められ、1 度退いた競技者は再び出場することができない。ただし、交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第 3 条に則って行う。
 - 3 試合球は公認球（5 号）とし、競技規則第 2 条に適合するものとする。
 - 4 本大会において退場を命じられた選手は次の 1 試合に出場できず、違反行為の内容によっては競技責任者、審判長、審判員でそれ以降の措置について決定する。
 - 5 本大会期間中、警告を 2 回受けた選手は次の 1 試合に出場できない。
 - 6 各チームは監督 1 名、選手 18 名に加え、引率者 1 名、コーチ 1 名（すべて監督が兼ねることができる）、校長のうち 2 名までがベンチ入りすることができる。
 - 7 今大会での優勝チーム・準優勝チームは、次年度に行われる宇和島市・北宇和郡中学校総合体育大会で第 1 シード・第 2 シードを得ることとする。（ただし、合同チームや単独チームになる場合は除く。）
- 競技規定
 - 1 ユニフォームは必ず 1 着以上を持参すること。（2 着以上が好ましい。）背番号は 1 番から 99 番までとする。
 - 2 審判員と同一または類似色のみユニフォームのシャツを用いることはできない。ゴールキーパーについても同様である。
 - 3 雷発生の危険性が高い場合は、直ちに試合を中止し、その後の処置については大会本部もしくは大会役員で決定する。

組合せ
サッカー



柔 道

- 競技責任者 松崎 太一 (津 島)
- 会場責任者 米井 妙 (城 北)
- 審 判 長 梶谷 啓介 (城 南)
- 審 判 員 山下 孝文 (宇和島高) 山口 真也 (鬼城柔) 田村 康夫 (津島柔)
毛利 泰三 (三間柔) 梶原 純 (吉田柔) 河辺 泰司 (鬼城柔)
- 運 営 員 渡邊 卓 (三 間)
- 医 師 細田 英樹
- 競技方法

1 団体戦

- (1) 男女ともリーグ方式とする。
- (2) 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- (3) チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- (4) 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- (5) 勝敗の判定基準は、「一本」、「技あり」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- (6) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」	=	「反則勝ち」	>	「技あり」	>	「僅差」
------	---	--------	---	-------	---	------

- (7) チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、順位は次の方法によって決定する。
 - ① チーム間における勝ち数による。
 - ② ①において同等の場合は、内容により決定する。
 - ③ ②において同等の場合は、1名による代表選により決定する。
- (8) 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

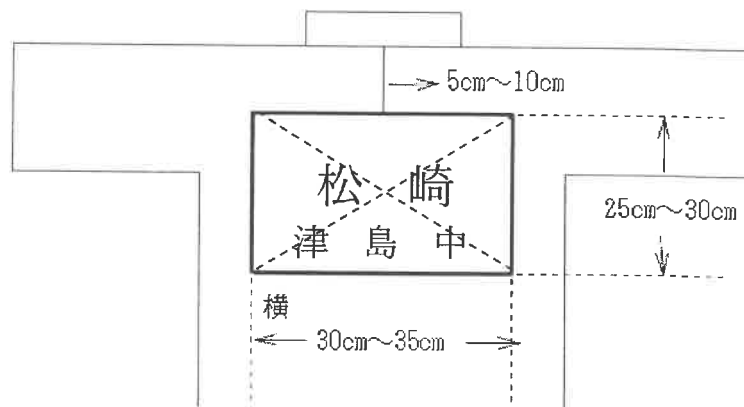
2 個人戦

- (1) 男女とも出場者が6名以内の階級はリーグ方式、7名以上の階級はトーナメント方式とする。
- (2) 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- (3) 勝敗の判定基準は、「一本」、「技あり」、又は「僅差(『指導』の差2)」とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦(ゴールデンスコア)で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- (4) 両者反則負けの場合は、次の試合に進めない。
- (5) 体重区分は次の通りとする。
 - ① 男子 50 kg級 (50 kg以下) 55 kg級 (50 kg超~55 kg以下)
60 kg級 (55 kg超~60 kg以下) 66 kg級 (60 kg超~66 kg以下)
73 kg級 (66 kg超~73 kg以下) 81 kg級 (73 kg超~81 kg以下)
90 kg級 (81 kg超~90 kg以下) 90 kg超級 (90 kg超)
 - ② 女子 40 kg級 (40 kg以下) 44 kg級 (40 kg超~44 kg以下)
48 kg級 (44 kg超~48 kg以下) 52 kg級 (48 kg超~52 kg以下)
57 kg級 (52 kg超~57 kg以下) 63 kg級 (57 kg超~63 kg以下)
70 kg級 (63 kg超~70 kg以下) 70 kg超級 (70 kg超)

○ 競技規程

- 1 国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」による。
- 2 柔道衣は白色とする。
- 3 (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は男女とも黒帯を用いること。
- 4 現行の(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること(新規格の赤色のマーキングのもの)。
- 5 柔道衣に必ずゼッケン(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。
 - (1) 布地は白(晒、太綾)とする。
 - (2) サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。
 - (3) 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
 - (4) 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。
 - (5) 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
 - (6) 縫い付け場所は襟から5cm~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
 - (7) 胸にチーム名の刺繍がある場合は、ゼッケンとチーム名が一致していることとする。

(例)



- 6 女子は上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
※ Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程(平成25年4月1日より施行)に準ずる。
- 7 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- 8 体重に増減があった場合、失格とする。但し、女子はTシャツ・下ばきで1kgオーバーまで認める。
- 9 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手の皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
- 10 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
 - (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(なお至急専門医の精査を受けること)。
 - (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - (4) 当該選手の指導者は、大会事務局及び(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- 11 いわゆる「絞め落ち」となった選手は、その後の一連の試合に出場することはできない。ただし、団体戦と個人戦は、一連の試合とは見なさない。
- 12 初心者が試合に出場するまでの期間は、練習開始から少なくとも6ヶ月経過後とする。

組合せ

柔道団体(男子)

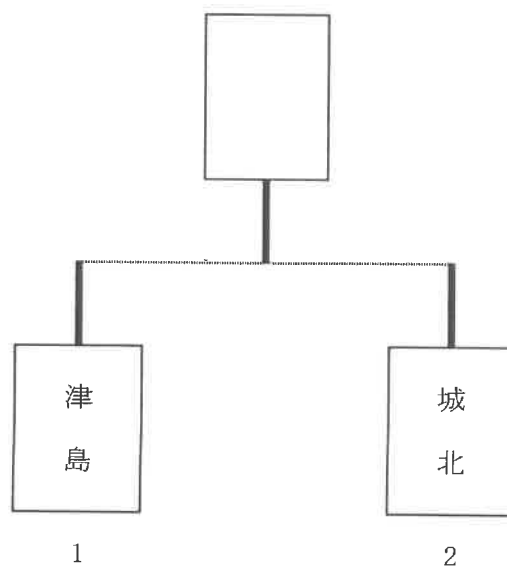
	1 城北	2 津島	3 三間	勝	負	分	順位
1 城北		—	—				
2 津島	—		—				
3 三間	—	—					

① 1 城北 — 2 津島

② 2 津島 — 3 三間

③ 1 城北 — 3 三間

柔道団体(女子)



組合せ
柔道個人(男子)

男子50kg級

		小西 昊	吉田 卓司	吉田 基真	羽田野 昊	工藤 颯太	毛利 志十	勝数	負数	順位
1	小西 昊 (三間)		①	④	⑦	⑩	⑮			
2	吉田 卓司 (城北)			⑪	⑭	⑧	⑥			
3	吉田 基真 (津島)				②	⑬	⑨			
4	羽田野 昊 (城南)					⑤	⑫			
5	工藤 颯太 (津島)						③			
6	毛利 志十 (三間)									

男子55kg級

		和泉 愛也	長岡 耕玄	谷川 望	勝数	負数	順位
1	和泉 愛也 (城北)		①	③			
2	長岡 耕玄 (三間)			②			
3	谷川 望 (三間)						

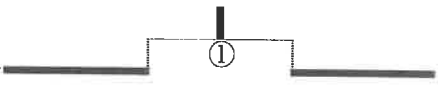
男子60kg級

		橋本 鳳希	梅村 珀	山口 力	山本 欣治	勝数	負数	順位
1	橋本 鳳希 (津島)		①	③	⑤			
2	梅村 珀 (三間)			⑥	④			
3	山口 力 (津島)				②			
4	山本 欣治 (城北)							

男子66kg級

1 吉見 謙汰 (三間)	┌───┐	①	└───┘	2 永樂 大夢 (津島)
--------------	-------	---	-------	--------------

男子73kg級

- 1 船田 結仁 (津島)  2 田中 煌大 (三間)

男子81kg級

- 1 田中 大治 (津島) 

柔道個人(女子)

女子48kg級

- 1 宮本 桃李 (津島) 

女子63kg級

- 1 山下 歩実 (津島) 

女子70kg級

- 1 浜村 優那 (城北) 

女子70kg超級

- 1 山下 珠愛 (城北) 

剣 道

- 競技責任者 山本 孝信 (城南)
- 会場責任者 酒井 孝夫 (三間)
- 審判長 酒井 孝夫 (三間)
- 審判員 古谷 龍夫 (鬼北剣) 梅本 定男 (宇 剣) 池田 公志 (宇東高) 三木千恵美 (宇 剣)
菊池 新八 (宇 剣) 高田 賢三 (鬼北剣) 山下 憂記 (宇 剣) 五島 卓也 (宇 剣)
大瀧 康孝 (鬼北剣) 渡邊 浩明 (三間剣) 清水 友和 (宇 剣) 酒井 良泰 (宇 剣)
山崎 美和 (三間剣) 桐山 浩之 (宇東高) 玉井 一隆 (宇 剣) 五島 啓太 (宇 剣)
- 運営員 工藤 洋志 (宇南) 高松 紗依 (広見) 山岡 妙 (城南)

○ 競技方法

団体戦は、リーグ戦を行い、順位を決定する。

個人戦はトーナメント戦を行い、3位決定戦を行う。

○ 競技規定

1 全日本剣道連盟の「剣道試合・審判規則及び細則」、及び暫定的な試合・審判法、日本中体連剣道競技部申し合わせ事項によって行う。

2 団体戦

(1) 3名以上で出場可。ただし、3名の場合は先鋒・中堅・大将の位置で行う。4名の場所は、先鋒・中堅・副将・大将の位置で行う。当日、団体戦の正員の中で、怪我等で出場できなかつたり、欠席したりする可能性がある選手がいる場合は次鋒と副将に入れること。(出場できない可能性のある選手が1名の場合は次鋒に、2名の場合は次鋒と副将に入れること。)

(2) 3分間3本勝負とする。ただし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。

(3) 勝敗は勝者数による。勝者数が同じ場合は、勝本数の多い方を勝ちとする。

ア トーナメント戦で同数の場合は、3分間1本勝負の代表者戦を行う。時間内に勝負が決しない場合は、2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。

イ リーグ戦で同数の場合は、引き分けとする。ただし順位を決定する際には、3分間1本勝負の代表者戦を行う。時間内に勝負が決しない場合は、2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。

(4) 登録選手として申し込みのない者は、正員の位置に入れることはできない。

(5) オーダーは申し込み後変更を認めない。

(6) 団体戦では、補員と交代した者は再び選手として出場できない。

3 個人戦

(1) 選手の出場制限はない。

(2) 3分間3本勝負とする。勝敗が決しない場合は、2分ごとの延長戦を勝敗の決するまで行う。

4 延長戦における休息等は以下の通りとする。

試合時間3分 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【小休止(深呼吸をする程度)】
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【面を外しての休息・給水(5分)】
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【小休止(深呼吸をする程度)】
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【面を外しての休息・給水(5分)】
⇒ 試合の続く限り繰り返す。

- 5 選手は、鏝競り合いをしない試合を心掛けさせる。やむを得ず鏝競り合いとなった場合はただちに分かれるか引き技を出す。「鏝競り合いの解消」とは、お互いに間合い（竹刀が交わらない距離）を完全に切る。解消されない場合は審判員が「分かれ」、あるいは状況により「止め」をかける。
- 6 試合中でも体調不良を感じた「本人」、あるいは競技者の異変を感じた「監督」は、主審に対して試合の中断を申し出ることができる。その場合、状況に応じて面を外し水分補給ができる。
- 7 突きおよび上段の構え、二刀は禁止する。
- 8 竹刀
 - (1) 男女とも 114 cm以下とし、先部の直径は、男子 25 mm以上、女子 24 mm以上でなければならない。また、先革の長さは 50 mm以上とする。
 - (2) ちくとう最小直径は、男子 20 mm以上、女子 19 mm以上とする。
 - (3) 重さは、男子 440 g以上、女子 400 g以上とする。
 - (4) 化学繊維竹刀の使用は認める。
 - (5) つるの色は、白・黄・紫のみとする。
 - (6) 事前に柄革に学校名と氏名を記入し、他の大会の合格シール等はずしておくこと。
 - (7) 柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので、白とする。
 - (8) つばの大きさは、直径 9 cm以下とし、色は革色のもの（白色も可）を使用する。（絵付きのものは装着の状況による。）
- 9 剣道着および袴、防具など
 - (1) 服装は、剣道着および袴を着用し、たれの前に団体名「中」（横）、姓（縦）を黒または紺地に白文字で記入する。剣道着のそで口に学校名以外の名前の刺繍の入っている剣道着の着用は認めない。（関係のないワッペン等の着用も認めない。）
 - (2) 面ひもの長さは結び目より 40 cm以内とする。色は紺色とする。
 - (3) 面乳革は大きさ、模様を含めて華美にならないように配慮する。色は黒色または紺色とする。
 - (4) 面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。（通常とは面金前部が銀色、面縁革の色が外側黒、内側朱のもの）
 - (5) アイガード・ポリカーボネット面は認める。
 - (6) 選手は試合及び練習において「面マスク」と面内に装着する「シールド」の着用を必須とする。
 - (7) サポーター等（足袋・テーピング、コルセットを含む）の使用については、医療上必要と認める場合に限り使用を認める。使用する場合は、試合開始までに各審判主任に届け出た上で使用する。

肘や膝などに付ける物を足に使用したり、ゴムや革及びびすべり止めを底に貼った物を使用したりすることは禁止とする。

届け出と違う物を使用した者は、替えさせる。

指先単独のテーピングの届け出は不要とする。
- 10 外部指導者（コーチ）

外部指導者（コーチ）は、監督席に座ったり、試合場付近に立ち寄りすることができる。

→ 監督となる者が、①「怪我」や②「剣道未経験者」等の理由により、剣道の指導ができない場合のみ、代表者が判断し決定する。

剣道 団体（男子）

第1試合場

勝ち○…1点、引き分け□…0.5点、負け△…0点

		1	2	3	得点	勝者数	勝本数	順位
1	城南		—	—				
2	宇南	—		—				
3	三間	—	—					

左が赤

第1試合場

- 1 : 城南 - 宇南
 2 : 三間 - 宇南
 3 : 三間 - 城南

剣道 団体（女子）

第2試合場

勝ち○…1点、引き分け□…0.5点、負け△…0点

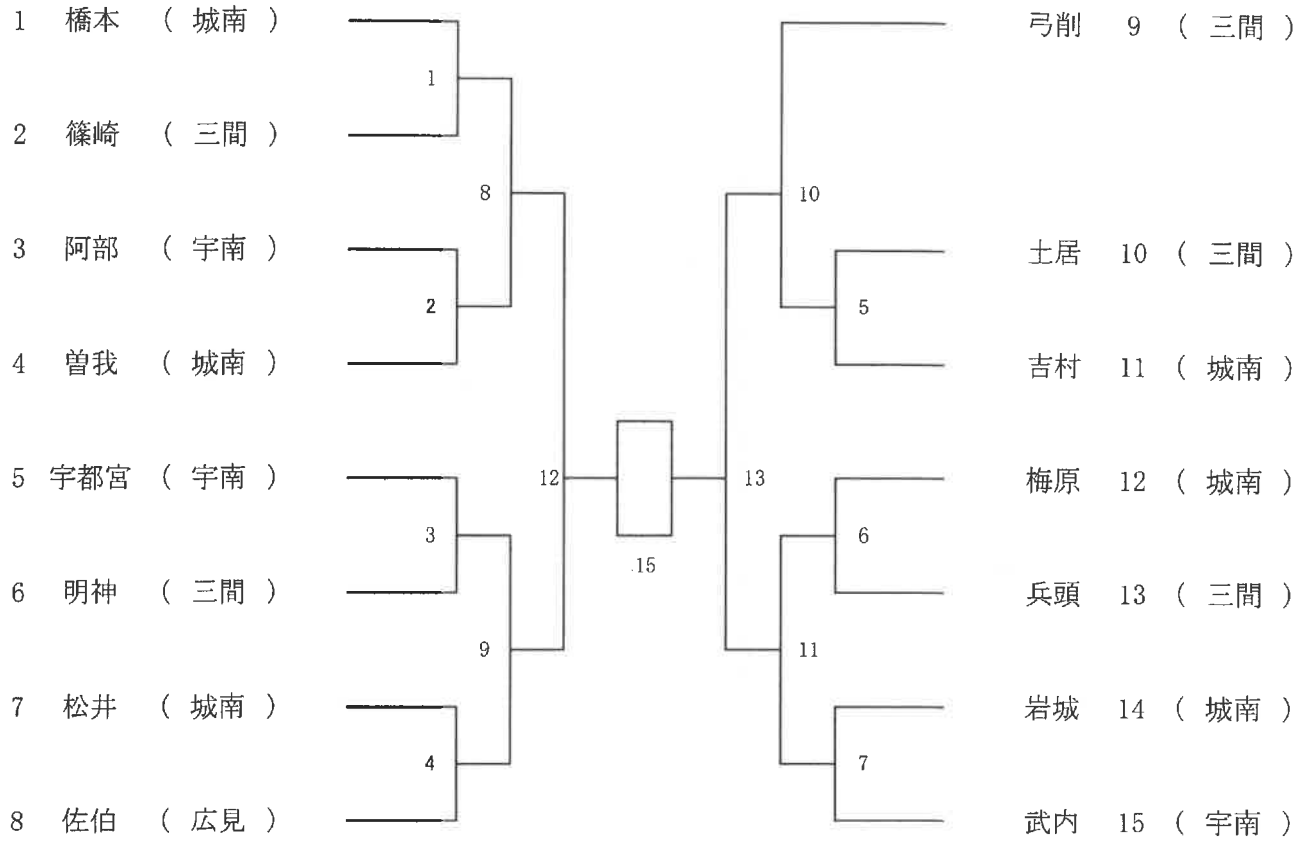
		1	2	3	得点	勝者数	勝本数	順位
1	城南		—	—				
2	宇南	—		—				
3	三間	—	—					

左が赤

第1試合場

- 1 : 城南 - 宇南
 2 : 三間 - 宇南
 3 : 三間 - 城南

剣道 個人 (男子) 第1 試合場

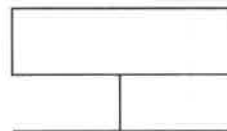


3位決定戦

第1 試合場 12の敗者

()

赤



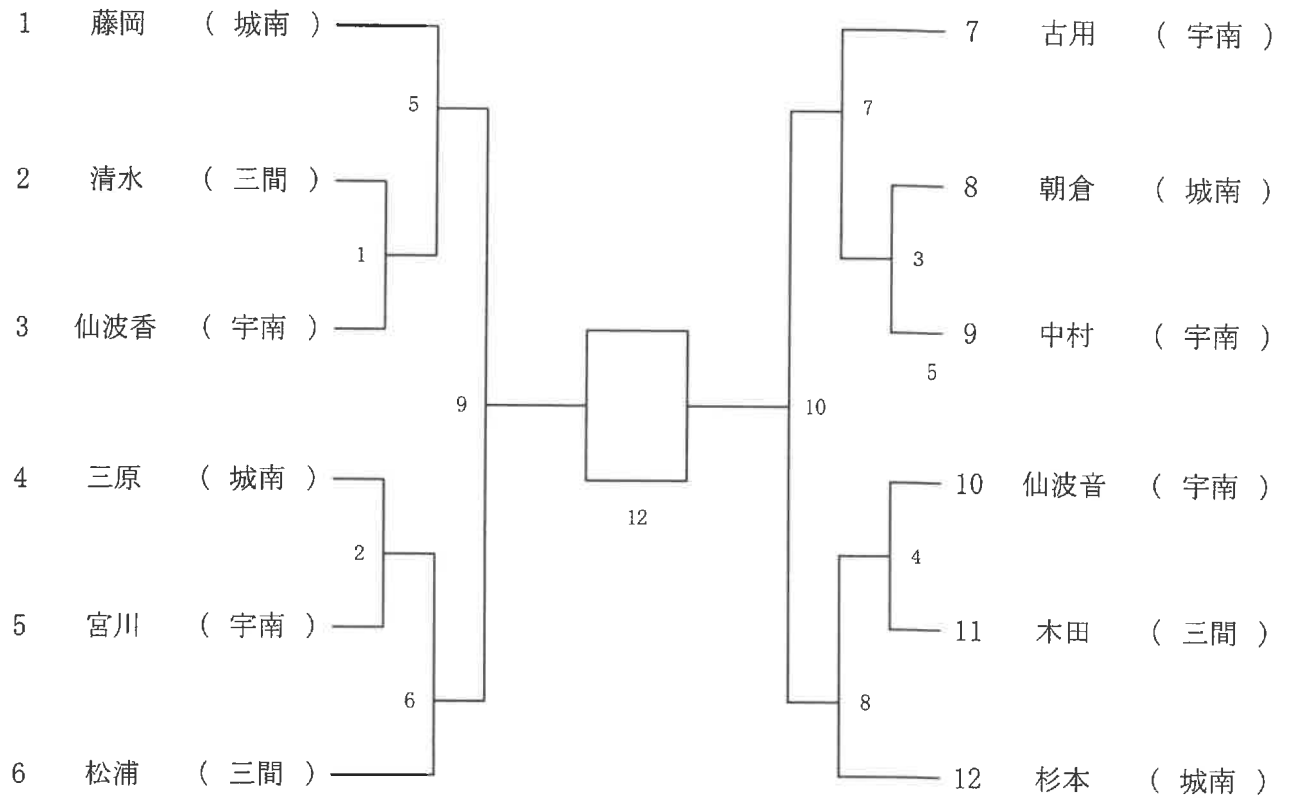
第2 試合場

14

第2 試合場 13の敗者

()

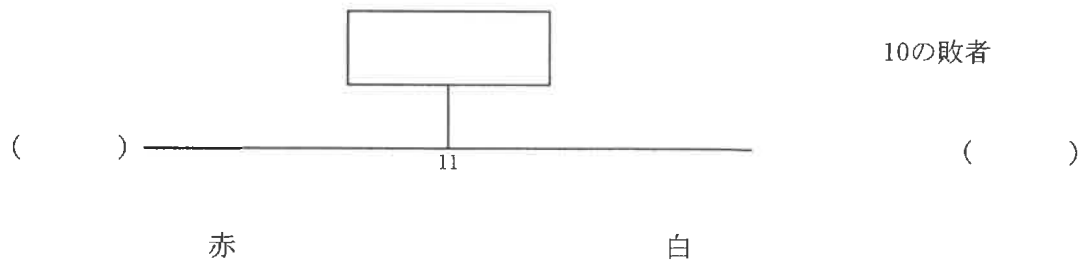
白



3位決定戦

9の敗者

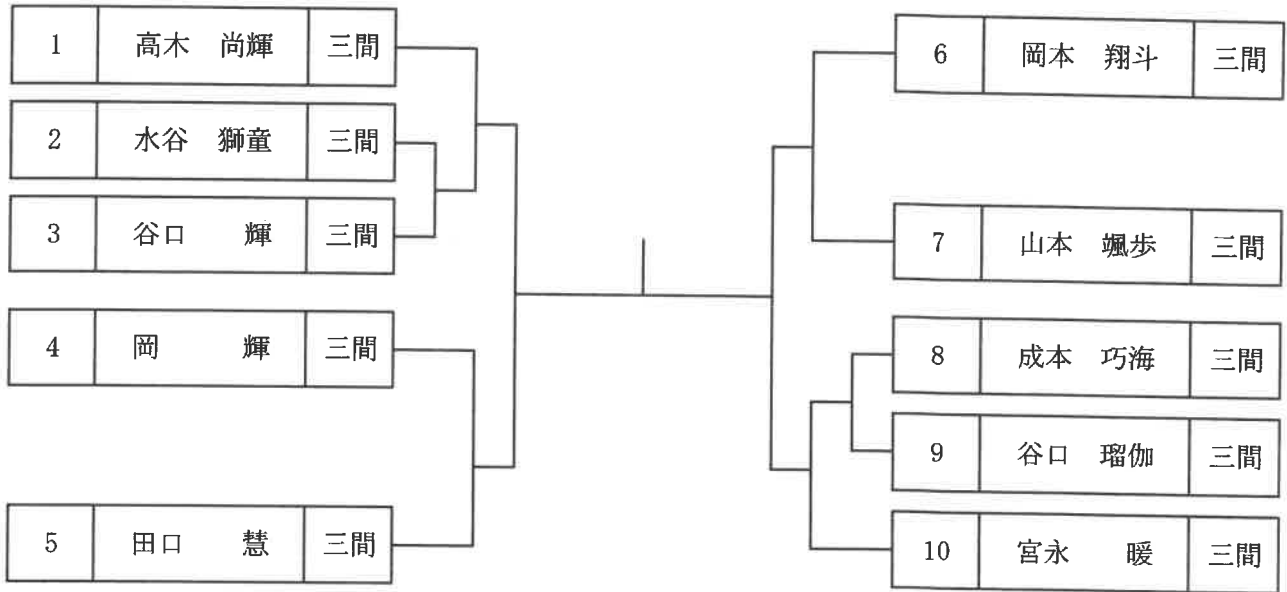
10の敗者



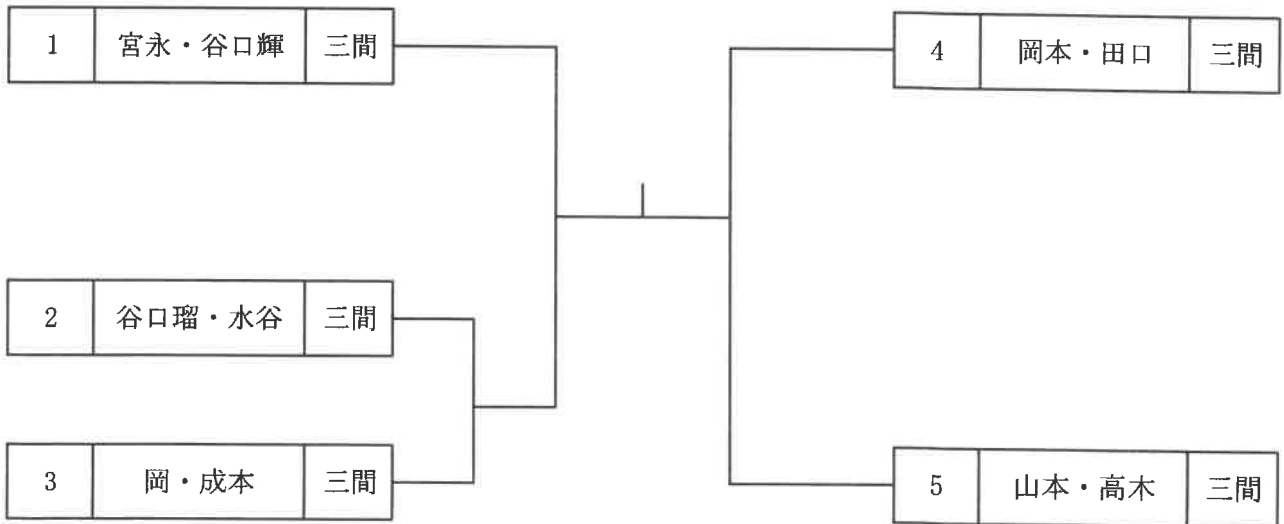
テニス

- 競技責任者 清水 充智 (三 間)
- 会場責任者 清水 充智 (三 間)
- 審判長 清水 充智 (三 間)
- 審判員 清岡 幸一 (宇テ連) 高木 克 (宇テ連)
- 運営員 清水 充智 (三 間) 森信 駿介 (三 間)
- 参加規程
 - 1 団体は、同一校・同一クラブの選手4名以上 10名以内と監督またはコーチ1名で構成する。
 - 2 個人シングルスは、各校12名以内とする。
 - 3 個人ダブルスは、同一校・同一クラブの選手2名で構成し、各団体6ペア以内とする。
- 競技方法
 - 1 1セットマッチタイブレイクとする。団体・個人(シングルス・ダブルス)とも、ノーアドバンテージ方式とする。
 - 2 個人はシングルスはトーナメント、ダブルスは男子はトーナメント、女子はリーグで行う。
- 競技規定
 - 1 (公財)日本テニス協会「テニスルールブック」による。
 - 2 審判は、セルフジャッジを原則とする。
 - 3 試合球は、ダンロップ・オーストラリアンオープンとする。
 - 4 服装は、上下ともテニスウェアとする。(ゼッケン等は必要ない。)
- 競技上の注意事項
 - 1 指示があるまでコートには絶対入らないこと。
 - 2 試合前の練習はサービス4本のみとする。
 - 3 団体戦は、勝敗決定後の残りの試合は打ち切りとする。
 - 4 セルフジャッジができない場合は、その時点で失格とする。

テニス 個人シングルス (男子)



テニス 個人ダブルス (男子)

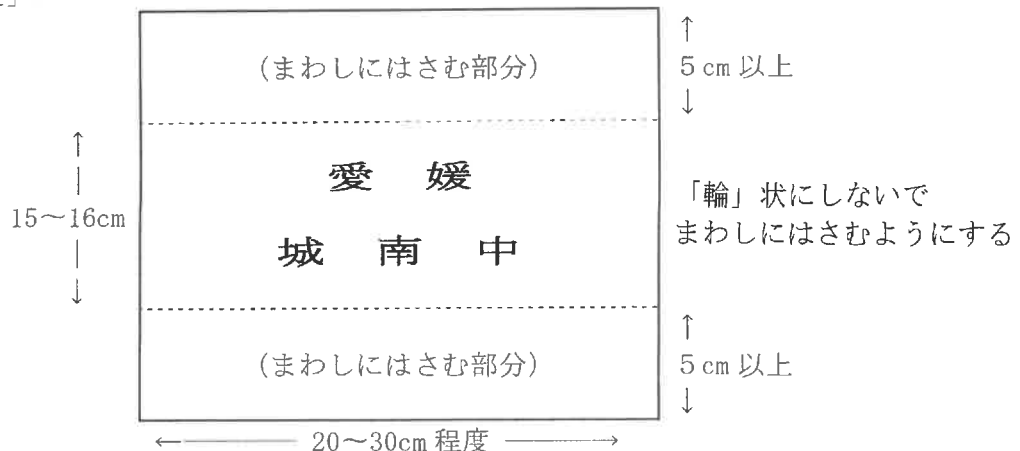


相 撲

- 競技責任者 井上 省吾 (城南)
- 会場責任者 井上 省吾 (城南)
- 審判長 井上 省吾 (城南)
- 審判員 千崎 岩宏 (市相連) 松下 功次 (市相連) 二宮 丈夫 (市相連)
池田比呂己 (市相連) 渡辺 庸介 (市相連) 若松 良健 (県相連)
- 運営員 眞田 洋一 (津島)
- 補助員 城南中学校生徒
- 競技方法 団体戦はリーグ戦とする。
個人戦は8名以上の場合はゾーンリーグで予選を行い、その後予選通過者によるトーナメント戦を行う。7名以下の場合は総当たりリーグ戦とする。
- 競技規定
 - 1 日本相撲連盟競技会規程及び審判規程並びに審判規程補則による。
 - 2 立合
 - (1) 主審の掛声により立つ。「待った」はなし。もし故意に「待った」をしたり、合わせなかつたりする場合は審判団協議の上、負けとすることがある。
 - (2) 立合は以下の手順で行うこと。(詳細はQRコードで示したリンクより確認すること)
 - ① 選手は呼出しに応じ、東西の徳俵にて立礼を行う。
 - ② 土俵中央(仕切り線の前)に移動して、そんきよを行う。
 - ③ 主審の掛け声に従い仕切りを入れる。
「構えて」「両手を同時について」「引きますよ」
 - ④ 主審の「ハッケヨイ」の掛声で立ち合う。
 - ⑤ 「勝負あった」の掛声で東西の徳俵に移動する。
 - ⑥ 両者立礼する。勝者はそんきよをし、勝名乗りを受けてから土俵から下がる。
 - 3 団体戦のチーム編成は自由とする。
 - 4 団体戦の順位は、勝敗、勝者数で定める。同点となった場合は決定戦を行い、それでも勝負が
決まらなかった場合は、各チーム代表選手による決定戦を行う。
個人戦の順位は、勝敗で定める。リーグ戦で同点となった場合は決定戦を行う。
 - 5 まわしを着用する。アンダーパンツを着用してよい。アンダーパンツとして、学校の体操服(短
パン)の着用を認める。
 - 6 声援は認めるが、サイドコーチと認められるものは禁止する。
 - 7 まわしの前に必ず校名(ゼッケン)をつける。



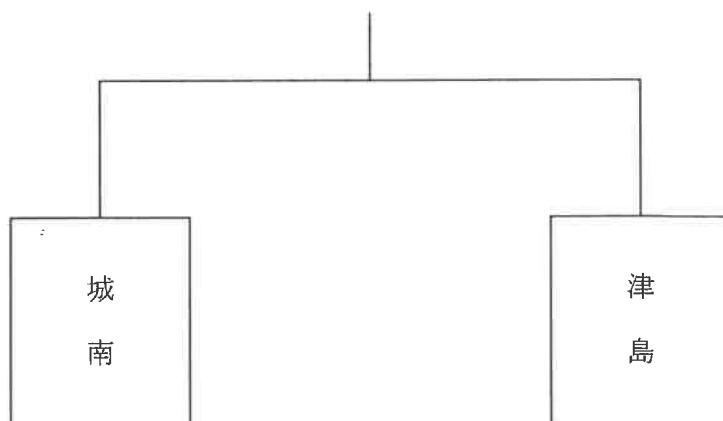
[ゼッケンの規定]



※ 字画の太さは1 cm程度とする

組合せ

相撲団体



相撲個人

			藤堂	兵頭	古田	清家	二宮	勝数	順位
1	藤堂 魁斗	津島							
2	兵頭 悠穂	城南							
3	古田 凌	津島							
4	清家 廉人	城南							
5	二宮 壮希	城南							

※ 勝数が並んだ場合は、決定戦を行う。

歴 代 優 勝 チ ー ム

回	ボバ ール		ボバ スケ ット		卓 球		テソ ニフ スト		軟 式 野 球	ボソ フ ルト	サ ツ カ ー	柔 道		剣 道		体 操 競 技		テ ニ ス		相 撲
	男	女	男	女	男	女	男	女	共	女	共	男	女	男	女	男	女	男	女	男
1	松野	吉田	城東	城東	宇南	城東	城東	城東	城東	城東	城東	津島	津島	広見	城南	城北	津島			津島
2	松野	吉田	城東	城南	城東	城東	津島	城東	津島	城北	城東	城南	城北	城東	城東	島津	島津			津島
3	松野	吉田	城東	城東	城北	三間	日吉	城南	宇和海	城北	城東	城北	城北	三間	広見	津島	城北			津島
4	松野	吉田	城東	城東	吉田	広見	広見	城東	津島	城北	城南	津島	城北	三間	広見	津島	城北			津島
5	松野	吉田	宇南	城南	城北	広見	城東	三間	三間	城北	城東	城北	城北	三間	宇南		城北			津島
6	松野	吉田	宇南	宇南	津島	津島	日吉	城南	広見	城北	城南	城北	津島	広見	三間		城北			津島
7	松野	吉田	宇南	宇南	城南	広見	日吉	城東	城東	城北	城東	城東	城北	三間	三間		城北			津島
8	松野	吉田	城東	城東	城東	広見	城南	島津	吉田	城北	城北	城東	城北	三間	三間		城北			津島
9	松野	宇南	城東	城東	城北	津島	日吉	城南	津島	城北	城北	津島	城北	三間	吉田	城北	城北		三間	津島
10	松野	吉田	宇南	城東	津島	広見	日吉	日吉	三間	城北	城南	津島	城北	広見	広見	城北		三間	三間	津島
11	松野	城北	宇南	城東	城南	吉田	日吉	城東	宇南	城北	城東	津島	三間	吉田	三間		城北	三間	三間	
12	城東	宇南	城東	城東	津島	城北	日吉	日吉	城東	城北	城東	津島	三間	宇南	三間		城北	三間	三間	
13	松野	広見	城東	城東	津島	宇南	日吉	広見	広見	城北	城東	三間	三間	三間	広見		城北	宇南	三間	
14	松野	広見	城東	城東	津島	津島	日吉	城東	三間	城北	城南	三間	城北	三間	宇南		城北	三間	三間	
15	松野	宇南	城東	城東	宇南	津島	津島	城東	広見		宇南	城北	城北	三間	宇南		城北	三間	三間	
16	松野	吉田	宇南	城東	城北	津島	広見	日吉	城東		城北	城北	三間	城北	三間		三間	三間		

歴代優勝チーム

回	ボバ ール		バ スケ ット		卓 球		テ ニ ス		軟 式 野 球	ボ ン フ ルト	サ ッ カ ー	柔 道		剣 道		体 操 競 技		テ ニ ス		相 撲	
	男	女	男	女	男	女	男	女	共	女	共	男	女	男	女	男	女	男	女	男	
17	松	広	宇	城	吉	吉	宇	城	広	見	城	三	城	三	宇	見	見	三	三	見	見
18	野	見	南	東	田	田	南	東	吉	城	宇	間	北	三	南	見	見	三	三	見	津
19	城	吉	津	城	広	城	広	見	田	北	南	間	北	間	南			間	間		島
20																					
21																					
22																					
23																					
24																					
25																					
26																					
27																					
28																					
29																					
30																					
31																					